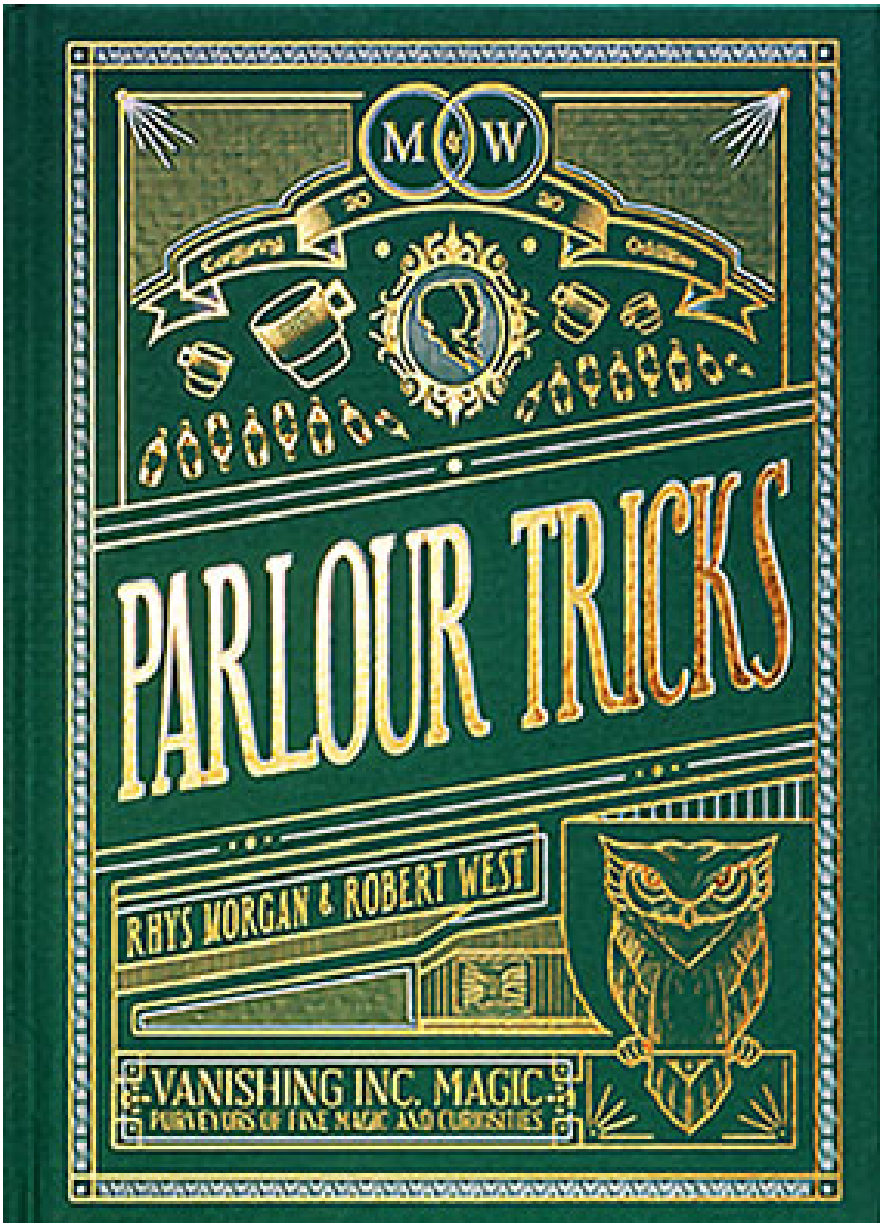
パーラー トリックス

by モーガン＆ウエスト



＜日本語解説書＞

★ 本書は、原書の自動翻訳を基に編集してあります。

（一部おかしな日本語もあります）

★ 彼らが演じる 1 時間半にわたるフルの実演映像が下記で見られます。

https://www.[redacted]

★ 原書には多数のカラー写真が載っています。参照して読み進めてください。

★ この日本語解説書は、原書の 27 ページより始まります。

====P.27==========

The Restarting Bottle

リスタート・ボトル

エフェクト

モーガン氏はボトル、グラス、2 本の筒を使って非常に素早いトリックを試みます。しかし、ウエスト氏はそんなことは全く意に介さず、モーガン氏の試みを阻止しようとします。モーガン氏が知らないうちにボトルが盗まれてしまいますが、彼が「そろそろトリックを始めよう」と宣言すると、魔法のようにボトルが現れます。2 回目のビン盗みも同様に失敗しますが、3 回目のビン盗みはモーガン氏に捕まります。

ウエスト氏は、ボトルとガラスを覆っている筒が痛くないようにすることを約束しましたが、ボトルに触れることは約束しませんでした。自分の悪巧みが成功したと思ったウエスト氏は、ボトルを持ち上げますが、彼の全くの驚きと不信に、ボトルは 3 回目にして急速に姿を現します。決意を新たにしたモーガン氏は、非常に素早いトリックを続け、ボトルとグラスを舞台上で入れ替えると、観客からは万雷の拍手が沸き起こります。

小道具

- 背の高いワイン（パイクラスト）テーブルが 2 つ。
- 「A　Nest of　Bottles」のセットです。
- 一番小さいボトルの下に収まる 2 つの同じグラス。
- 2 つの金属製シリンダーは、ボトルの巣の中で最も大きいものにフィットします。

「A　Nest of　Bottles」の中から、一番大きなサイズの 3 本だけを使い、各サイズ 2 本ずつの計 6 本を用意しました。ワインのラベルは、タンポポとゴボウのラベルに変更しました。

このショーは家族向けで、アルコールやタバコを使ったトリックをしたくないため、ワインのラベルはタンポポとゴボウのラベルに変更されました。

筒には質感のある紙が貼られ、より古風な印象を与えます。

筒の内側で底がぶつかり合いガタガタしないように、薄いフェルトを 3 本敷いています。

＊写真 1 はすべての小道具です。

準備

大・中・小の 3 本のボトルを入れ子にして、テーブルの上に置き、その横に筒を置いたものです。テーブルはステージ右に設置されており、以下、A とします。

2 本のボトル（中・小）を入れ子にして、その下にはグラスが置かれています（見えません）。 これは、舞台上の中央の平台の後ろの棚に置かれています。（以下、B）。

1 本のボトル（大）に筒をかぶせ（見えないようにして）、残ったテーブルの上に、グラスと一緒に置かれています。このテーブルはステージ左に設置されており、以下では C とします。

方法

このルーティンの中心となるのは、古典的な「ネスティング・ボトル」のセット・ハンドリングです。

ボトルが入った筒を拾うときに、ボトルの首に指をかけて、筒と一緒にボトルを持ち上げることができます。**（写真 2）**

ボトルの高さが違うので、筒でボトルの巣全体を拾うこともできるし、大きい 2 つのボトルのネック部分だけを握って 1 つを残すこともできる。

P28

ステージ上のウエスト氏側の筒とボトルは、筒の上部を持ち、ボトルの首の部分を中指で掴んで、ほぼ全編にわたって一体となって拾ったり置いたりしています。ガラスが覆われて現れるたびに、ボトルは筒の中に保持され、クライマックスでは、筒が取り除かれてもボトルはガラスの上に置かれたままになります。

モーガン氏の筒は、3 本のボトルの巣の横からスタートし、それを覆うようにしている。そして、ウエスト氏が背後から忍び寄り、筒と 2 つの大きな瓶を 1 つにして持ち上げ、一番小さな瓶だけをテーブルに残します**（写真 3）**。そして、このボトルを盗んでボトルをセットの後ろ（舞台袖）に置いていく。

P29

モーガン氏が筒を持ち上げると、ボトルがなくなっていることに気づきます。残った 2 つのボトルを一つにして、テーブルの上に置きます。テーブルの上には何もありませんでした**（写真 4）**。このプロセスは繰り返され、その度にウエスト氏はモーガン氏の側からボトルを 1 本盗み、舞台上のセットの奥へと持っていきます。モーガン氏は、ウエスト氏が 3 本目のボトルを盗むところを、ウエスト氏の手（とボトル）が舞台上のフラットに隠れているが、体の他の部分は隠れていないという絶妙なタイミングで捕らえます。

モーガンとウエストの面白いやりとりの中で、ウエスト氏は手に持っていた 1 本のボトルを、中にグラスが入った 2 本のボトルに交換し、それをモーガン氏のテーブルに忠実に戻します（**写真 5**、舞台裏から見たウエスト氏の手）。グラスがボトルから落ちないようにするために、ウエスト氏はボトルの根元近くを握り、小指を少し下に回して、入れ子になっているボトルとグラスを支えている**（写真 6）**。 P30

もう一度、ボトルを筒で覆い、今度はウエスト氏がボトルを筒の上部から盗み出し、ボトル（と隠されたグラス）を残して、すぐに明らかにします。その後、モーガン氏は、自分のテーブル上のボトルとグラスを 1 本の筒で覆い、ウエスト氏のテーブル上のグラスをもう 1 本の筒とボトルで覆います。最後のスイッチは、ウエスト氏側の筒だけを持ち上げ、モーガン氏側の筒と瓶を持ち上げてガラスを出すことで明らかになります**（写真 7）**。

P31

パフォーマンス

- モーガン氏

とても簡単なトリックの時間です。

- ウエスト氏

非常に早い。

モーガン氏 & ウエスト氏は、ボトルや筒が置かれたテーブルを前にして上に置いてあります。

- モーガン氏

このボトルを使った仕掛け。

モーガン氏は、A のジェスチャーをします。

- ウエスト氏

そしてこのグラス。

ウエスト氏は、C の隣に置かれたグラスを手で示す。

- モーガン氏

そして、この 2 つの筒！　まず、この筒でボトルを覆います。モーガン氏は A に筒をかぶせ、ウエスト氏のテーブルに向かう。そして、モーガン氏はステージ左の筒でグラスを覆い、中のボトルは見えないようにします。そうしている間に、ウエスト氏は彼の後ろに行き右側の筒を持ち上げ、中の 2 本のボトルを持ち上げ、一番小さいボトルを盗みます。一番小さいボトルを盗み、フラットの後ろに持っていき、そのまま置いて出てきます。一瞬、グラスがステージのこちら側から消えて、反対側に現れます。一方、ボトルは.....消える.....。

　モーガン氏はテーブルに置かれたステージ右の筒を持ち上げ、中に残っていた 2 本のボトルも一緒に持ち上げ、ボトルがなくなっていることに気づく。

- ウエスト氏

どうしたの？

- モーガン氏

そこにボトルがあったような気がしたんだが。気にするな。
　5 モーガン氏は、ステージ右の筒と入っているボトルを交換します。

- ウエスト氏

気にしないでください。

- モーガン氏

もう一度始めてください。

- ウエスト氏

もう一度始めてください。

- モーガン氏

早速ですが、とても簡単なトリックの時間です。

- ウエスト氏

とても速いですね。

- モーガン氏

このボトルを使ったトリックです。モーガン氏はステージ右の筒を持ち上げますが、中のボトルは持ち上げず、今までなかったボトルが現れます。

**5. モーガン氏は最初、ボトルがないことに戸惑いましたが、トリックの過程でウエスト氏を疑うようになり、ウエスト氏を捕まえるところまでいきました。このようにして、モーガン氏のウエスト氏に優位に立つことができるという少し浮世離れした性格が確立されていきます。*

- ウエスト氏

そして、このグラスは…。
**6 ウエスト氏はステージ左の筒とその中のボトルを持ち上げて、グラスを見せます。*

- モーガン氏

そして、この 2 本の筒。*7 はじめに、私は単純にボトルをこの筒で覆います。モーガン氏は、A をステージ右の筒で覆い、ウエスト氏のテーブルへと歩いていきます。そして、モーガン氏はステージ左の筒にボトルを入れてグラスを覆う。ウエスト氏はモーガン氏の後ろに回り、中瓶をテーブルに置いたまま右の筒を持ち上げ、中瓶を盗んでフラットの後ろに持って行き、出てくる前に置いておきます。一瞬、グラスがステージのこちら側から消えて、反対側に現れボトルは…消える…モーガン氏はステージ右の筒とその中のボトルを持ち去り、ボトルがなくなっていることに気づく。

- ウエスト氏

どうしたの？

**6. このトリックが売れるかどうかの大きなポイントは、マジックに対するウエスト氏の反応です。もし、ウエスト氏がボトルの出現を全く気にしていなかったら、このトリックはこれほど面白いものにはならないでしょう。ウエスト氏の苛立ちは、彼とモーガン氏の間に対立を生み、モーガン氏は最終的にトリックを完成させることで対立に勝つことができるのです。馬鹿げた話だが、マジシャンがボールをコップの下に置いたのを見て（さっきまで置いていたのに）と驚く演技をすると、観客はそのボールを見てより驚くことになる。人間は、感情的な合図に従わざるを得ません。*

**7 これは、驚きのために演じられるものでも、マジックとして演じられるものでもありません。II.は、非常に平凡に演じられています。モーガン氏は、再び始めましたが、トリックの開始時には、ボトル 1 本とグラス 1 個を持っています。拍手喝采を狙って演じたいところですが、それでは再登場がトリックの一部になってしまいます。物語上、実際にはそうではありません。*

―以下省略―